

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2009年総目次（53号～64号）

53号：2009.1.1(木)（14頁）

1. 論文：世界同時不況と日本の医療・社会保障
（『日本医事新報』2008年12月27日号（4418号）：76-79頁）
2. インタビュー：医療立て直しの道筋は
（『週刊東洋経済』2008年12月27日号・2009年1月3日号（6180号）：144頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算41回・2008年分その9：7論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その49） - 最近知った名言・警句

54号：2009.2.1(日)（22頁）

1. 論文：政府内の混合診療全面解禁論の凋落
（『文化連情報』2009年2月号（371号）：14-17頁）
2. 対談：リハビリテーションの制度改革と診療報酬
（『作業療法ジャーナル』2009年1月号（43巻1号）：7-14頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算42回・2008年分その10：8論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その50） - 最近知った名言・警句

55号：2009.3.1(日)（本文14頁 + 別ファイル11頁）

1. 論文：オバマ新大統領の就任演説を読む
（「日経メディカルオンライン」2009年2月2日。『文化連情報』2009年3月号（372号）：10-12頁に転載）
 2. 書評：『米国医療崩壊の構図』（『週刊社会保障』2009年2月23日号（2519号）：36頁）
 3. 重度障害者の在宅ケア費用は施設ケア費用よりも高いことに言及した拙著一覧
 4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算43回・2008年分その11：8論文）
 5. 私の好きな名言・警句の紹介（その51） - 最近知った名言・警句
- 補. 論文「医療改革と財源選択」（『保健医療社会学論集』19(2)：33-42,2009.2.15）（別ファイル：08保医社稿.doc）

56号：2009.4.1(水)（本文18頁 + 別ファイル11頁）

1. 論文：2009年以降の医療政策と医療経営を考える
（『文化連情報』2009年月4月号（373号）：22-28頁）
2. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書
（2009年度版、Ver 11）（別ファイル：09院本推薦.doc）

3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その14）：11冊

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その52） - 最近知った名言・警句

57号：2009.5.1(金)（18頁）

1. 論文：医師数と医療費の関係を歴史的・実証的に考える
（『月刊／保険診療』2009年4月号（69巻4号）：48-55頁。『文化連情報』2009年月5月号（374号）：18-26頁に転載）。

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算44回．2009年分その1：8論文）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その53 - 最近知った名言・警句）

58号：2009.6.1(月)（12頁）

1. 新著『医療改革と財源選択』の目次・はしがき・あとがき

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算45回．2009年分その2：7論文・特集）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その54 - 最近知った名言・警句）

59号：2009.7.1(水)（15頁）

1. 論文：財政制度等審議会「建議」の医療改革方針を読む - 時代錯誤の主張と診療報酬抑制の新たな手法

（「二木教授の医療時評（その68）」『文化連情報』2009年月7月号（376号）：22-27頁）

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算46回．2009年分その3：7論文・特集）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その55 - 最近知った名言・警句）

60号：2009.8.1(土)（22頁）

1. インタビュー：医療提供の仕組みを国が統制してはいけない
医療界・医学界主導で専門医制度の確立を

（『週刊東洋経済』2009年7月18日号（6212号）：86-87頁）

2. インタビュー：医療改革の「希望の芽」の拡大を
『医療改革と財源選択』の出版にあたって

（『文化連情報』2009年8月号（377号）：18-25頁）

3. インタビュー：医療費抑制策の見直しを機に医療の財源を考える
（『集中』2009年8月号（2巻8号）：78-81頁）

4. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その15）：7冊

5. 私の好きな名言・警句の紹介（その56 - 最近知った名言・警句）

61号：2009.9.1(火)（16頁）

1. 論文：民主党の医療政策とその実現可能性を読む
(「二木教授の医療時評(その69)」『文化連情報』2009年月9月号(378号):14-18頁)
2. スピーチ：川上武先生の思い出 - 3つの名言
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算47回・2009年分その4:11論文)...今回はすべて体系的文献レビュー
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その57 - 最近知った名言・警句)

62号：2009.10.1(木)(22頁)

1. 論文：医療費抑制政策の転換と財源選択論争 - 第5回社会保障国際会議報告
(「二木教授の医療時評(その70)」『文化連情報』2009年月10月号(379号):22-25頁)
2. 論文：民主党政権の医療政策とその実現可能性を読む
(『現代思想』2009年10月号(第37巻13号):180-188頁)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算48回・2009年分その5:9論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その58 - 最近知った名言・警句)

63号：2009.11.1(日)(17頁)

1. 論文：「混合診療に係る東京高裁判決と全面解禁論の消失」
(「二木教授の医療時評(その71)」『文化連情報』2009年月11月号(380号):14-16頁)
2. 書評：京極高宣『医療福祉士への道 - 日本ソーシャルワーカーの歴史的考察』医学書院,2008(『Pharma Medica』2009年9月号(第27巻9号):134-136頁)
3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書(洋書)のうち一読に値すると思うものの紹介(その16):6冊
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算49回・2009年分その6:10論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その59 - 最近知った名言・警句)

64号：2009.12.1(火)

64号の目次は以下の通りです(12頁+別ファイル16頁)

1. インタビュー：病床の機能分化で医療の質が向上 医療費抑制による「医療崩壊」も
(『日経ヘルスケア』2009年11月8日号(第241号):36頁)
 2. 書評：M・E・ポーター、他『医療戦略の本質 - 価値を向上させる競争』日経BP社,2009
(「日経メディカルオンライン」2009.11.19)
 3. 書評：松岡健一『医学とエンゲルス - 社会医学の立場から』大月書店,2009(『日本の科学者』2009年12月号(通巻503号):54頁)
 4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算50回・2009年分その7:8論文)
 5. 私の好きな名言・警句の紹介(その60 - 最近知った名言・警句)
- 補. 「ニューズレター」年間総目次(53~64号)(別ファイル:09NL目次.doc)
- 医療経済・政策学関連の洋書・英語論文の目次、名言・警句の人名索引付き。

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2009年（53～64号）

最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読

に値すると思うものの紹介 2009年目次：合計24冊

56号:2009.4.1（水）：11冊

<非（反）新古典派の医療経済学書（4冊）>

○『医療経済学への挑戦』

(Mooney G: Challenging Health Economics. Oxford University Press, 2009, 250 pages) [研究書]

○『医療経済学—批判と国際的分析』(Palmer GR, Ho MT: Health Economics - A Critical and Global Analysis. Palgrave, 2008, 304 pages) [中級教科書]

○『健康不平等の経済学』(McIntyre D, Mooney G (ed.): The Economics of Health Equity. Cambridge University Press, 2007, 276 pages) [教科書的論文集]

○『健康と不平等—医療・福祉の主要なテーマ [論文選]』(Pickett KE, Wilkinson RG (eds): Health and Inequality - Major Themes in Health and Social Welfare. Routledge, 2009, 4 volumes, 572+697+631+610 pages) [研究論文集（リーディングス）]

<医療技術の分析（3冊）>

○『医療費、技術革新、および人口変化』(Ilgin Y: Health Care Expenditures, Innovation, and Demographic Change. Peter Lang, 2007, 110 pages) [研究書]

○『医療と社会における医療技術—医療機器、技術革新、および政府の社会学』(Faulkner A: Medical Technology into Healthcare and Society - A Sociology of Devices, Innovation and Governance. Palgrave, 2009, 238 pages) [研究書]

○『医療市場における技術革新と技術導入』

<その他（4冊）>

○『医療政策—批判的視点』

(Crimson L: Health Policy - A Critical Perspective. SAGE, 2009, 218 pages) [中級教科書]

○『医療における経営革新の国際化』

(Kimberly JR, Pouvourville Gd, et al(eds):The Globalization of Managerial Innovation in Health Care. Cambridge University Press, 2008, 379 pages) [研究書]

○『アメリカにおける看護労働力の将来—データ、トレンドおよび含意』(Buerhaus PI, Staiger DO, et al: The Future of the Nursing Workforce in the United States - Data, Trends, and Implications. Jones and Bartlett Publishers, 2007, 312 pages) [研究書]

○『フランスにおける普遍的医療保険—いかにして維持可能か？フランスの医療制度の解説』(Rodwin VG, et al: Universal Health Insurance in France - How Sustainable? Essays on the French Health System. The Office of Health and Social Affairs, Embassy of France in Washington, DC, 2006, 219 pages <http://www.wagner.nyu.edu/health/universal.pdf>)

60号:2009.8.1（土）：7冊

○『新医療技術の経済学—誘因、組織と財政』

(Costa-Font J, Courbage C, McGuire A :The Economics of New Health Technologies -

Incentives, Organization, and Financing. Oxford University Press, 2009, 297 pages) [研究書 (論文集)]

○ 『神経経済学 (医療経済学と医療サービス研究の進歩 第20巻) 』

(Houser D, McCabe K (Eds) :Neuroeconomics (Advances in Health Economics and Health Services Research Volume 20). Emerald Group Publishing, 2008, 376pages) [研究書 (論文集)]

○ 『肥満経済学－栄養、健康および経済政策』

(Mazzocchi M, Traill WB, Shogren JF :Fat Economics - Nutrition, Health, and Economic Policy. Oxford University Press, 2009, 181 pages) [概説書]

○ 『高齢者の健康－ [アメリカにおける] 高齢者の障害 [出現率] の低下の原因と結果』

(Cutler DM, Wise DA (Eds): Health at Older Ages - The Causes and Consequences of Declining Disability among the Elderly. The University of Chicago Press, 2008, 494 pages) [研究書]

○ 『 [アメリカの] 長寿革命－便益と挑戦』

(Butler RN: The Longevity Revolution - The Benefits and Challenges of Living and a Long Life. Public Affairs Books, 2008, 553 pages) [研究書]

○ 『アメリカの医療－組織と提供 [制度] を理解する [第6版] 』

(Sultz HA, Young KM: Health Care USA - Understanding Its Organization and Delivery Sixth Edition. Jones and Bartlett Publishers, 2009, 492pages.) [中級教科書]

○ 『医療制度の比較－国際的視点から』

(Johnson JA, Stoskopf GH: Comparative Health Systems - Global Perspectives. Jones and Bartlett Publishers, 2010, 451pages.) [研究書]

63号:2009.11.1 (日) : 6冊

< 医療経済・政策学領域の最新教科書・百科事典6冊をまとめて紹介 >

○ 『 [フォランド] 健康と医療の経済学 第6版』

(Folland S, Goodman AC, Stano M: The Economics of Health and Health Care Sixth Edition. Pearson, 2010, 601 pages) [中級教科書]

○ 『 [サンテール] 医療経済学－理論、洞察、および産業分析 第5版』

(Santerre RE, Neun SP: Health Economics - Theory, Insights, and Industry Studies. South-Western, 2010, 605 pages) [中級教科書]

○ 『 [フェルプス] 医療経済学 第4版』

(Phelps CE: Health Economics Fourth Edition. Pearson, 2010, 640 pages) [中級教科書]

○ 『 [ツヴァイフェル] 医療経済学 第2版』

(Zweifel P, Breyer F, Kifmann M: Health Economics Second Edition. Springer, 2009, 529 pages) [中級教科書]

○ 『医療経済・政策学の原理』

(Olsen JA: Principles in Health Economics and Policy. Oxford University Press, 2009, 224 pages) [初級教科書]

○ 『医療サービス研究百科事典』

(Mullner RM (ed): Encyclopedia of Health Services Research. Sage Reference Publication, 2009, 1409 pages) [百科事典]

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2009年(53～64号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文目次:合計83論文

53号(2009.1.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算41回. 2008年分その9:7論文)

○高齢者の画像診断の利用パターン：カナダ・オンタリオ州での全数調査

(Wang Li, et al: Utilization patterns of diagnostic imaging across the late life course: A population-based study in Ontario, Canada. International Journal of Technology Assessment in Health Care 24(4):384-390,2008) [量的研究]

○【カナダの】癌患者の緩和ケア利用の年齢による不平等についての全数調査

(Burge FI, et al: A population-based study of age inequalities in access to palliative care among cancer patients. Medical Care 46(12):1203-1211,2008) [量的研究]

○【アメリカの】高齢者の社会経済的地位と術後死亡率

(Birkmeyer NJ, et al: Socioeconomic status and surgical mortality in the elderly. Medical Care 46(9):893-899,2008) [量的研究]

○アメリカの【病院の】救急外来を受診する成人無保険者—通念対データ

(Newton MF, et al: Uninsured adults presenting to US emergency departments - Assumptions vs data. JAMA 300(16):1914-1924,2008) [文献レビュー]

○産科施設閉鎖が産科医療のアクセスに与える影響：フランスの1998～2003年の経験

(Pilkington H, et al: Impact of maternity unit closures on access to obstetrical care: The French experience between 1998 and 2003. Social Science & Medicine 67(10):1521-1529,2008) [量的研究]

○スウェーデンのプライマリケアの新自由主義的改革：誰のために？そして何の目的で？

(Dahlgren G: Neoliberal reforms in Swedish primary health care: For whom and for what purpose? International Journal of Health Services 38(4):697-715,2008) [医療政策研究]

○医薬品：根拠の欠如—製薬企業は新製品についての不都合な情報を抑えているか？

(Pharmaceuticals: Absence of evidence - Do drug firms suppress unfavourable information about new products? The Economist November 29th: 81,2008) [文献紹介]

54号(2009.2.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算42回. 2008年分その10:8論文)

○【アメリカのプライマリケア医療の】電子カルテの構成要素と医療の質

(Keyhani S, et al: Electronic health record components and the quality of care. Medical Care 46(12):1267-1272,2008) [量的研究]

○【手術による】医療事故が発生後90日間の医療費とアウトカムに与える影響：【アメリカの】外科患者の調査

(Encinosa WE, et al: The impact of medical errors on ninety-day costs and outcomes: An

examination of surgical patients. Health Services Research 43(6):2067-2085,2008) [量的研究]

○競争は [HMOの] 医療の質を改善するか？

(Scanlon DP, et al: Does competition improve health care quality? Health Services Research 43(6):1931-1951,2008) [量的研究]

○ [アメリカの] 専門病院と総合的病院：費用 [効率] の比較分析

(Carey K, et al: Specialty and full-service hospitals: A comparative cost analysis. Health Services Research 43(5,Part 2):1869-1887,2008) [量的研究]

○ [アメリカの] 病院の開設者と医療の質：何が先行研究の異なる結果を説明するか？

(Eggleston K, et al: Hospital ownership and quality of care: What explains the different results in the literature? Health Economics 17(12):1345-1362,2008) [文献レビュー]

○ [アメリカの] 病院間競争が入院医療の質に与える影響

(Mutter RL, et al: The effect of hospital competition on inpatient quality of care. Inquiry 45(3):263-279,2008) [量的研究]

○ [アメリカの] 病院の非効率の測定：医療の質と患者の疾病負担を調整する影響

(Mutter RL, et al: Measuring hospital inefficiency: The effects of controlling for quality and patient burden of illness. Health Services Research 43(6):1992-2013,2008) [量的研究]

○医療サービス提供の効率と生産性の測定 [研究の文献レビュー]

(Hollingsworth B: The measurement of efficiency and productivity of health care delivery. Health Economics 17(10):1107-1128,2008) [文献レビュー]

55号(2009.3.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算43回. 2008年分その11:8論文)

○アメリカの医療制度のムダ：概念的分析枠組み

(Bentley TGK, et al: Waste in the U.S. health care system: A conceptual framework. Milbank Quarterly 86(4):629-659,2008) [理論研究]

○ [アメリカとイギリスにおける医療] 購入者の医療の質に応じた支払いプログラムの評価からの教訓：根拠のレビュー

(Christianson JB, et al: Lessons from evaluations of purchaser pay-for-performance program - A review of the evidence. Medical Care Research and Review 65(6, supplement):5S-35S,2008) [文献レビュー]

○先駆的な [医療の] 質に応じた支払い： [アメリカの] 結果に報酬を支払うモデル事業の教訓 (Young GJ, et al: Pioneering pay-for-quality: Lessons from the rewarding results demonstrations. Health Care Financing Review 29(1):59-69,2007[実際の発行は2008年末])[文献レビュー]

○ [心筋梗塞後] 冠動脈性心疾患患者に対する疾病管理プログラム—ドイツのプログラムの実証研究

(Gapp O, et al: Disease management programmes for patients with coronary heart disease - An empirical study of German programmes. Health Policy 88(2-3):176-185,2008) [量的研究]

○ [アメリカでは] 医師の多い州ほど医療の質は高い

(Cooper RA: States with more physicians have better-quality health care. Health Affairs web exclusive w91-w102,2008) [量的研究]

○なぜ非緊急患者はプライマリ医療より救急医療を選ぶのか？ [イタリアでの] 実証的根拠とマネジメント面での含意

(Lega F, et al: Why non-urgent patients choose emergency over primary care services? Empirical evidence and managerial implications. Health Policy 88(2-3):326-338,2008) [量的研究]

○管理された競争と強制加入の皆保険の実験：新しいオランダの医療保険制度

(Rosenau PV, et al: An experiment with regulated competition and individual mandates for universal health care: The new Dutch health insurance system. Journal of Health Politics, Policy and Law 33(6):1031-1055,2008) [医療政策研究]

○医師ストライキと死亡率：文献レビュー

(Cunningham SA, et al: Doctors' strike and mortality: A review. Social Science and Medicine: 67(11):1784-1788,2008) [文献レビュー]

57号(2009.5.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算44回. 2009年分その1:8論文・特集)

○特集：疾病管理 [プログラム] (Disease Management. Health Care Financing Review 30(1):1-91,2008(実際の発行は2009)) [雑誌の特集]

○ [アメリカ] インディアナ州慢性疾患管理プログラムのメディケイド医療費に対する影響—州全体の縦断的評価

(Katz BP, et al: The Indiana chronic disease management program's impact on Medicaid claims - A longitudinal, statewide evaluation. Medical Care 47(2):154-160,2009) [量的研究]

○特集：保健医療分野のITの促進

(Stimulating Health IT. Health Affairs 28(2):320-516,2009) [雑誌の特集]

○医療情報技術の費用と便益：文献からの新しいトレンド

(Goldzweig CL, et al: Costs and benefits of health information technology: New trends from the literature. Health Affairs 28(2):w282-293,2009 [ウェブ版]) [文献レビュー]

○どこに革命があるのか？インターネット時代のデジタル技術と医療

(Miller EA, et al: Where's the revolution? Digital technology and health care in the Internet age. Journal of Health Politics, Policy and Law 34(2):261-284,2009) [量的研究]

○需要側主導の医療と病院選択. オランダの需要側主導を目指した医療政策：病院 [附属診療所] 選択についての調査結果 (Lako CJ, et al: Demand-driven care and hospital choice.

Dutch health policy toward demand-driven care: Results from a survey into hospital choice. Health Care and Analysis 17(1):20-35,2009. [量的研究]

○アメリカの受刑者の健康と医療：全国調査の結果

(Wilper AP, et al: The health and health care of US prisoners: Results of a national survey. American Journal of Public Health 99(4):666-672,2009) [量的調査]

○ [新古典派に代わる] もう一つの医療経済学に向けて

(Hodgson GM: Towards an alternative economics of health care. Health Economics, Policy and

Law 4(1):99-114,2009) [理論研究]

58号(2009.6.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算45回. 2009年分その2:7論文・特集)

○病院が申告する「リープフロッグ安全実施ランキング」と院内死亡率との関連

(Kernisan LP, et al: Association between hospital-reported Leapfrog safe practice scores and inpatient mortality. JAMA 301(13):1341-1348,2009) [量的研究]

○【医療の質の】情報公開が公開されていない医療の質に与える影響

(Werner RM, et al: Impact of public reporting on unreported quality of care. Health Services Research 44(2,Part 1):379-398,2009) [量的研究]

○特集：【医療の】質の測定の質の改善(Improving the quality of quality measurement. Medical Care 47(4),2009)

○症例数の多い病院の患者数の変化の評価－病院、支払い者および総症例数のトレンド

(Kronebusch K: Assessing changes in high-volume hospital use - Hospitals, payers, and aggregate volume trends. Medical Care Research and Review 66(2):197-218,2009)

○加齢性疾患－それは医療費節減から予防医療を予防するか？ [加齢性疾患は予防医療による医療費節減を相殺するか？]

(Gandjour A: Aging diseases - Do they prevent preventive health care from saving costs? Health Economics 18(3):355-362,2009) [量的研究 (シミュレーション研究)]

○疾病の予防についての経済的議論の精査

(Woolf SH: A closer look at the economic argument for disease prevention. JAMA 301(5):536-538,2009) [評論]

59号(2009.7.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算46回. 2009年分その3:7論文)

○ヨーロッパでは【同居していない】子による高齢の親へのインフォーマルケアはフォーマルケアを代替しているか？

(Bonsang E: Does informal care from children to their elderly parents substitute for formal care in Europe? Journal of Health Economics 28(1):143-154,2009) [量的研究]

○ドイツの参照薬価プログラムが処方薬の工場渡し価格に与える影響：パネルデータ法

(Augurzky B, et al: Effects of the German reference drug program on ex-factory prices of prescription drugs: A panel data approach. Health Economics 18(4):421-436,2009) [量的研究]

○政策選択か経済原理か：カナダでは何が医療費の公私バランスを規定しているのか？

(Di Matteo L: Policy choice or economic fundamentals: What drives the public-private health expenditure balance in Canada? Health Economics, Policy and Law 4(1):29-53,2009) [量的研究]

○【デンマークの】脳卒中患者の医療の質と在院日数

(Svendsen ML, et al: Quality of care and length of hospital stay among patients with stroke.

Medical Care 47(5):575-582,2009) [量的研究]

○ [医療] 効率の測定： [アメリカのリスク調整済み] 入院費用と医療の質との関連
(Jha AK, et al: Measuring efficiency: The association of hospital costs and quality of care. Health Affairs 28(3):897-906,2009) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 専門的看護の経済的価値
(Dall TM, et al: The economic value of professional nursing. Medical Care 47(1):97-104,2009)
[シミュレーション研究]

○地域居住の既存障害を有している高齢者を対象にした訪問看護介入のレビュー
(Liebel DV, et al: Review of nurse home visiting intervention for community-dwelling older persons with existing disability. Medical Care Research and Review 66(2):119-146,2009)[文献レビュー]

61号(2009.9.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算47回. 2009年分その4:11論文)

...今回はすべて体系的文献レビュー (10番目の1論文のみ2008年発表)

○医師密度と医療消費との関連：根拠についての体系的文献レビュー

(Leonard C, et al: Association between physician density and health care consumption: A systematic review of the evidence. Health Policy 91(2):121-134,2009) [体系的文献レビュー]

○医師は医療費抑制に同意しているか？調査研究の体系的文献レビューで示された矛盾した結果

(Strech D, et al: Are physicians willing to ration health care? Conflicting findings in a systematic review of survey research. Health Policy 90(2-3):113-124,2009) [体系的文献レビュー]

○監査・フィードバックが医療の質に与える効果：メタアナリシス

(Hysong SJ: Audit and feedback features impact effectiveness on care quality. Medical Care 47(3):356-363,2009) [メタアナリシス]

○入院医療の改善のための質指標の利用：体系的文献レビュー

(De Vos M, et al: Using quality indicators to improve hospital care: A review of the literature. International Journal for Quality in Health Care 21(2):119-129,2009) [体系的文献レビュー]

○ [アメリカにおける] 医療 [の質] の情報公開：消費者は医療の質情報をどのように利用しているか？

(Faber M, et al: Public reporting in health care: How do consumers use quality-of-care information? A systematic review. Medical Care 47(1):1-8,2009) [体系的文献レビュー]

○我々は [医療の] 質改善研究から何を学べるか？研究方法について批判的文献レビュー
(Alexander JA, et al: What can we learn from quality improvement research? A critical review of research methods. Medical Care Research and Review 66(3):235-271,2009) [体系的文献レビュー]

○ [アメリカの] 医療効率尺度の体系的文献レビュー

(Hussey PS, et al: A systematic review of health care efficiency measures. Health Services Research 44(3):784-805,2009) [体系的文献レビュー]

○病院への【医療の】質マネジメント・システム導入の決定要因

(Wardhani V, et al: Determinants of quality management systems implementation in hospitals. Health Policy 89(3):239-251,2009) [体系的文献レビュー]

○【アメリカの】ナーシングホームにおける質に応じた支払い【の文献レビュー】

(Briesacher BA, et al: Pay-for-performance in nursing homes. Health Care Financing Review 30(3):1-13,2009) [文献レビュー]

○医療保険【の有無】が成人の【医療】利用と【健康】アウトカムに与える因果効果：アメリカの研究の体系的文献レビュー

(Freeman JD, et al: The causal effect of health insurance on utilization and outcomes in adults: A systematic review of US studies. Medical Care 46(10):1023-1032,2008) [体系的文献レビュー]

○ソーシャルキャピタルと医療アクセス：体系的文献レビュー

(Derose KP, et al: Social capital and health care access: A systematic review. Medical Care Research and Review 66(3):272-306,2009) [体系的文献レビュー]

62号(2009.10.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算48回. 2009年分その5:9論文)

<アメリカ独特の医療研究>

○【アメリカにおける】慢性疾患を有する成人ホームレス者に対する住まい【提供】・ケースマネジメント・プログラムが救急外来受診と入院に与える影響：ランダム化試験

(Sadowski LS, et al: Effect of a housing and case management program on emergency department visits and hospitalizations among chronically ill homeless adults: A randomized trial. JAMA 301(17):1771-1778,2009) [量的研究]

○【アメリカにおける】薬物嗜癖のホームレス者に対する住まい第一【プログラム】：われわれはやりすぎているか？

(Kertesz SG, et al: Housing first for homeless persons with active addiction: Are we overreaching? The Milbank Quarterly 87(2):495-534,2009) [文献レビュー]

○【アメリカにおける】ボランティアの価値付け：ボランティアが病院のパフォーマンスに与える影響

(Hotchkiss RB, et al: Valuing volunteers: The impact of volunteerism on hospital performance. Health Care Management Review 34(2):119-128,2009) [量的研究]

○アメリカのホスピタリスト【病棟専属医】による高齢者診療の増加

(Kuo VF, et al: Growth in the care of older patients by hospitalists in the United States. New England Journal of Medicine 360(11):1102-1112,2009) [量的研究]

○【アメリカにおける】高齢患者が入院した場合のプライマリケア医による外来診療と入院診療の継続性

(Sharma G, et al: Continuity of outpatient and inpatient care by primary care physicians for hospitalized older adults. JAMA 301(16):1671-1680,2009) [量的研究]

<カナダ医療の研究>

○カナダにおける死亡場所の急激な変化：1994-2004年

(Wilson DM, et al: The rapidly changing location of death in Canada, 1994-2004. Social Science & Medicine 68(10):1752-1758,2009) [量的研究]

○ **【カナダにおける高齢者】 死亡の相対的費用の経年変化**

(Payne G, et al: Temporal trends in the relative cost of dying: Evidence from Canada. Health Policy 90(2-3):270-276,2009) [量的研究]

<その他>

○ **政策担当者と医療提供者が演じるゲーム：日本における病院の慢性期病棟へのケースミックスを基礎にした支払い方式の導入**

(Ikegami N (池上直己) :Games policy makers and providers play: Introducing case-mix-based payment to hospital chronic care units in Japan. Journal of Health Politics, Policy and Law 34(3):361-380,2009) [医療政策研究]

○ **民営化の背後のメカニズム：スウェーデンの高齢者ケアにおける民間部門増加のケーススタディ**

(Stolt R, et al: Mechanisms behind privatization: A case study of private growth in Swedish elderly care. Social Science & Medicine 68(5):903-911,2009) [ケーススタディ (量的研究も併用)]

63号(2009.11.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算49回. 2009年分その6:10論文)

○ **【アメリカの】 病院倒産に関連した要因：政治的・経済的分析枠組み**

(Landry AY, et al: Factors associated with hospital bankruptcies: A political and economic framework. Journal of Healthcare Management 54(4):252-272) [量的研究]

○ **【アメリカで】 増加しつつあるナーシングホーム閉鎖に関連した要因**

(Castle NG, et al: Factors associated with increasing nursing home closures. Health Services Research 44(3):1088-1109,2009) [量的研究]

○ **【アメリカの】 メディケアの在宅ケア支払い【への上限導入】 がインフォーマルケアに与える影響**

(Golberstein E, et al: Effect of Medicare home health care payment on informal care. Inquiry 46(1):58-71,2009) [量的研究]

○ **困難な時期：財政抑制が【アメリカ】 ミシガン州の【メディケイド】 在宅ケアサービス利用と利用者のアウトカムに与える影響**

(D'Souza JC, et al: Hard times: The effects of financial strain on home care services use and participant outcomes in Michigan. The Gerontologist 49(2):154-165,2009) [量的研究]

○ **【アメリカの高齢者の】 死への接近【死亡前2年間】 と長期ケア市場への参加【の関連】**

(Weaver F, et al: Proximity to death and participation in the long-term care market. Health Economics 18(8):867-883,2009) [量的研究]

○ **擬似イノベーション：医療の質改善の諸方法の開発と普及**

(Walshe K: Pseudoinnovation: the development and spread of healthcare quality improvement methodology. International Journal for Quality in Health Care 21(3):153-159,2009) [評論・計量書誌学的分析]

○患者満足度の再考：[オランダの病院での] マルチレベル分析

(Hekker KD, et al: Patient satisfaction revisited: A multilevel approach. Social Science & Medicine 69(1):68-75,2009) [量的研究]

○侵襲的手技利用のガイダンスは各国でどのように作成されているか：国際調査

(Plumb J, et al: How guidance on the use of interventional procedures is produced in different countries: An international survey. International Journal of Technology Assessment in Health Care 25(2):124-133,2009) [国際比較研究]

○保健医療介入の経済評価における公平への考慮の明示的統合

(Cookson R, Drummond M, et al: Explicit incorporation of equity considerations into economic evaluation of public health interventions. Health Economics, Policy and Law 4(2):231-245,2009) [理論研究と論争]

○医療経済学者は公平とアクセスについて再考する時ではないのか？

(Mooney G: Is it not time for health economists to rethink equity and access? Health Economics, Policy and Law 4(2):209-221,2009) [理論研究]

64号(2009.12.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算50回. 2009年分その7:8論文)

○医薬 [分業] 改革：韓日比較の含意

(Jeong HS: Pharmaceutical reforms: Implications through comparisons of Korea and Japan. Health Policy 93(2-3):165-171, 2009) [比較医療政策研究]

○医薬分業をしている医師としていない医師の診療を比較した文献の体系的レビュー

(Lim D, et al: A systematic review of the literature comparing the practices of dispensing and non-dispensing doctors. Health Policy 92(1):1-9,2009. [体系的文献レビュー]

○[ドイツにおける] 脳卒中リハビリテーションの質に基づく支払い—2001~2008年実施のパイロット・プロジェクトの結果

(Gerdes N, Funke UN, Schuewer U, et al: Ergebnisorientierte Verguetung der Rehabilitation nach Schlaganfall - Entwicklungsschritte eines Modellprojekts 2001-2008. Rehabilitation 48:190-201,2009) [量的研究]

○イングランドにおける質に基づく支払い (P4P) のプライマリケアの質に対する効果

(Campbell SM, et al: Effects of pay for performance on the quality of primary care in England. New England Journal of Medicine 361(4):368-378,2009) [量的研究]

○[アメリカにおける] 医療における質に基づく支払い (P4P)：根拠 [が得られていないにもかかわらず支持される] アイロニーと価値判断についての政治学

(Tanenbaum SJ: Pay for performance in medicine: Evidentiary irony and the politics of value. Journal of Health Politics, Policy and Law. 34(5):717-746,2009) [総説]

○特集：医療技術評価の歴史

(History of HTA. International Journal of Technology Assessment in Health Care 25(Supplement):1-288,2009) [歴史研究・比較医療政策研究]

○ヨーロッパ [4か国] における医療危機の導入と利用可能性のバランス

(Schreyoegg, J et al: Balancing adoption and affordability of medical devices in Europe. Health Policy 92(2-3):218-224,2009) [比較医療政策研究]

○ [アメリカにおける] 脱施設化 [公立精神床の削減] は自殺を増やすか？

(Yoon J, et al: Does deinstitutionalization increase suicide? Health Services Research 44(4):1385-1405,2009) [量的研究]

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2009年（53～64号）

「私の好きな名言・警句の紹介」2009年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「 」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

井上ひさし(53),伊吹文明(53),阿部寛(53),音羽親方(53),内田樹(55),「大阪八ムレット」(55),浦田憲治(55),池上直己(56),ウエーバー(56),「愛少女ポリアンナ物語」(56),イチロー(56),岩隈久志(56),江見康一(58),安藤忠雄(58),東照二(59),岡田克也(59),エンゲルス(59,61),池谷裕二(60),梅棹忠夫(60=13),上田誠吉(60),井上由美子(60),忌野清志郎(60),石井淳蔵(61),いとうせいこう(61),江川卓(61),大岡昇平(62),大竹しのぶ(62),荻野アンナ(62,63),江副浩正(63),「相棒」(64),大沢在昌(64),安藤高朗(64)

か行

小宮隆太郎(53,54),川嶋みどり(53),加藤周一(53,57),加藤一郎(53),金子満広(53),クルーグマン(54,62),君原健二(54=32),川島正次郎(55),小池晃(55),カストロ(55),駒村康平(56),キャンベル(56),コイル(56),海堂尊(56),京極高宣(56),児島美都子(56),権丈善一(57),クルーズ(57),小宮一慶(58),カエサル(58),鎌田浩毅(59),金成垣(59),国木田独歩(59),黒木登志夫(59),小長谷有紀(60),グレイザー(60),川島蓉子(60),金井真介(60),上林茂暢(61),国谷裕子(61),金大中(61,63),小泉英明(61),オルテガ(62=23),小浜裕久(63),姜尚中(63),近藤宏一(64)

さ行

坂田昌一(53),佐野眞一(54),「作業療法」(54),佐和隆光(54,61),志井和夫(54),品川正治(54),スティグリッツ(55),司馬遼太郎(55),鈴木光太郎(55),城山三郎(55),副島隆彦(55,64),白澤政和(56),佐藤幹夫(58),澤知博(58),サットン(58),五月みどり(58),佐野洋(59),鈴木亮平(59),佐治晴夫(60),先崎学(60),外山滋比古(61),齋藤環(61),篠原三代平(63),佐々木毅(63),シン(63),佐高信(64),沢木耕太郎(64)

た行

戸塚洋二(54),多田将軍(54),瞳目卓生(55),立川談志(55),田中優子(56),堤修三(57),トム・クルーズ(57),「ディファイアンス」(57),津山直一(58=11),高木伸夫(58),武弘道(59),津田喬子(59),高木博志(60),綱島理友(60),寺井谷子(60),辻井伸行(60),蜷川幸雄(62),徳永進(62),鳥羽研二(62),竹中平蔵(63),堤修三(63),立浪和義(63),ドーア(64),哲(64=31)

な行

中村桂子(54),中井久夫(54),野木丈司(54),中谷巖(54),西広市(55),仲代達也(55,58),野村克也(56),野口悠紀雄(57,60),二木立(57,63=20),中島茂(58),西成活裕(59),西村英俊(60),中村哲也(61=7),中村順司(63),野田和夫(64=12)

は行

平野真一(53),坂東昌子(53),パコーン(54),羽生善治(54),早川和男(55),耳塚寛明(56),ハイ

フェッツ(56),バグディキアン(57),福島一政(57),長谷川穂積(57),フェファー(58),不破哲三(60),日野秀逸(60),本田由紀(60),バーグマン(61),長谷川義幸(61),古橋広之進(61),平山郁夫(61),ピNSTOCK(62),東谷暁(63),長谷川真理子(64)

ま行

宮本百合子(53),森島昭夫(53),益川敏英(54,55,59,61),メインランド(54=9),三浦皇成(54),松本佳子(54),森喜朗(54),村田兆治(53),松坂慶子(55),ミル(55),メインドル(56),マックス・ウェーバー(56),村松謙一(57),マーチ(58),マルクス(59,60),宮本博司(60),益子剛(61),向田邦子(63),水谷豊(63),水月昭道(64),まどみちお(64),「マーシャル博士の恐竜ランド」(64)

や行

吉川弘之(53),山根一眞(53),湯浅誠(53,55,57,59,64=59),山中伸弥(55),米沢富美子(58,59),山中恭子(58),山本宣治(63)

ら行

レヴィ(53),リンスキー(56),ローゼンツワイグ(56),ロビンソン(57=5),リース(62),リンゼー(62),ローラ浅田(62),ロー(63),ロマンラン(63=20)

わ行

ワイナー(55),渡辺久信(56),八木繁(59),ワトソン(60),渡辺和子(60),「私の中のあなた」(63)